

第63回：楊潔篪を何と読む？

いまはむかし日中間の国交が正常化した 1970 年代のこと。さる日本の大手メーカーが中国から技術交流視察団を受け入れることになった。そして日本各地の工場を見学するなか、中国人エンジニアたちは現場にこんな標語が張られているのを見て肝をつぶしたという。

油断一秒 怪我一生

これは日本の工場や工事現場でよく見る安全注意のスローガンだが、中国人たちは(当たり前だが)これを中国語として読んだ。中国語ではこんな意味になる。「油が一秒でも切れたら、一生オレのことを非難してくれ」 おお！何と壮絶なる決意表明であることか。さすがは世界を代表するメーカー、現場の工員さんたちの意識はこんなに高いのか。日本の労働者は強欲な資本家に搾取され悲惨な生活を送っていると聞いていたが、聞くと見るでは大違いと一同感激したというのだ。ちょっと出来すぎたジョークのような気もするが、実話である。

日本では中国から伝来した漢字と、漢字をベースに自ら発明したひらがなとカタカナを併用しているが、日本語の名詞は漢字のみで構成されている単語が多い。漢字の意味は日本も中国も似たようなものであり中国で漢字を使って筆談すれば八割方は通じるだろう。だから中国語のできない日本のおじさんは北京や上海に出張し、商社員のアテンドでナイトクラブやカラオケバーに案内されると、鼻の下を思い切り伸ばしながら小姐たちと「今晚予定如何？」などと筆談するのである。今晚如何と露骨に書けば、品位はともかく意味は間違いなく通じるだろう。一方、日本で常用する言葉のなかには中国では通用しない、もしくは別の意味を示す単語も少なくない。湯はスープ、手紙はトイレットペーパーの類である。「油断」や「怪我」は日本古来の大和言葉に漢字を当てただけだから中国では意味が通じないのである。これを中国語として強引に訳せば「油が切れる」、「我を怪しめよ」となってしまうのである。

漢字は便利なようで厄介な存在である。弊社は「中国株の東洋証券」をスローガンとして日々拳拳服膺、営業に邁進しているが、香港や上海・深センに上場している銘柄をどう表示するか、担当者は頭を悩ませているようだ。銘柄でも「中国銀行」や「中国石油」は簡単だ。漢字のまま使っても「バンク・オブ・チャイナ」、「ペトロ・チャイナ」と英語標記にしても大差はない。

中国最大のカップめんメーカーの「康師傅」は英文標記では「Tingyi(ティンイー)」だが、業績が急拡大するなか国内外でこれだけ有名な存在となれば、お客様に対して中国語の読み方で「カンシーフをお勧めします」と言っても罰は当たらないだろう。一方頭を悩ませるのが例えば「兗州煤業」、こんな銘柄だ。華東地区を代表する石炭の大手採掘・加工・販売業者だが、最初の「兗」という字が日本にはない。漢和辞典の隅っこには載っているのだろうが、「兗州の刺史・曹操」といった具合で三国志などに地名として登場する以外の使用例は見たことがない。弊社では「エン州煤業(えんしゅう・ばいぎょう)」としているが、正直言って野暮ったい標記である。それでは「Yanzhou Coal Mining」と英文標記にすれば、何となく石炭産業だろうと見当はつ

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

くが、最初の「Yanzhou」を「イエンジョー」と読める人は少ないだろう。「中芯国際集成电路製造有限公司」という銘柄は更に面倒だ。「集成电路」から半導体メーカーではないかと想像することはできるが、この銘柄を口に出して「ちゅうしんこくさいしゅうせいでんろせいぞうゆうげんこんす」をお勧めしますと提案しても、相手から見れば九字の真言か念仏にしか聞こえず理解不能だ。一方これを「Semiconductor Manufacturing International Corporation」と発音すれば英語の苦手な営業員が舌を噛み切り、救急車が飛んで来る恐れがあるので証券マンたちはやむなく「エスエムアイシー」と呼んでいるのである。

中国人の名前も人によっては読みにくい。日本では中国人の名前、例えば鄧小平を「トン・シアオピン」ではなく「とうしょうへい」と呼んでいる。これは中国が田中角栄を「たなか」ではなく「ティエンジョン」と呼ぶように、相互主義のレシプロ関係によるものである。ここで中国の政治に内政干渉するつもりはないが、もしも中国が日本との関係を大切にしたいのであれば日本人にとって読みやすい氏名を持った人物をリーダーとして登用して欲しいものである。つい最近、北朝鮮が黄海の南北境界水域に近い韓国の延坪島を砲撃し、この暴挙に対し韓国が激怒、中国は困惑、欧米も呆れ果てるなか、中国の外交責任者たちが朝鮮半島を飛び回り右往左往しているが、このキーパーソン二名の名前が実に読みにくい。

中国外交を統括する国務委員（副総理級）の戴秉国を「たいへいこく」と読むのは至難の業である。真ん中の「秉」は「乗」とは似て非なる漢字である。李白の漢詩に《秉燭夜遊＝燭を乗（と）りて夜遊ぶ》、つまり人生とは儚いものだから大いに夜遊びをしようではないかという一句があり、筆者はこれを座右の銘としている関係で若い頃から知っていたが、夜遊びをしない人には縁の薄い読みにくい漢字といえる。秉といえば正岡子規の門下双璧は愛称キヨシ（高浜虚子）と秉公（ヘイコウ＝河東碧梧桐）である。これから再開されるテレビ番組「坂の上の雲」にもこの二人は登場するだろう。閑話休題、戴秉国の下で外務大臣を務めている楊潔篪を「ようけっち」と読める日本人は皆無に近い。中国人だって「篪(chi)」と発音できる人は少ないという。欧米のマスコミが英語の達人の彼をキザに Tiger Yang と呼んだ記事を見たことがあるが、これは間違い。「篪」は虎ではなくて横笛を意味し、ホントは Flute Yang が正しいのである。

幸いなことに中国共産党の指導者には、胡錦濤・温家宝・呉邦国など日本人にとって読み易く、書き易い氏名の方が多く、過去の指導者も毛沢東・周恩来・朱徳といった具合である。中国の子供でも難しい名前前の指導者が誕生すれば漢字の書き取りテストや政治社会の試験で苦勞するだろう。従って（相当強引な理屈だが）、二年後に誕生する指導部にも習近平・李克強・李源朝・王岐山といった平易な漢字の方を登用して頂ければわれわれ日本人も親しみが持てるし、紙に書くことも可能になるのだが。太子党の代表で保守派の大物の故・薄一波を父に持つ薄熙来（重慶市書記）はスタンドプレーを得意とし、その強引さで昔から米国に嫌われ、中国国内の評価も分かれる人物である。二年後の彼の去就は不明だが、「熙」など難しい名前の方には、この際更なる出世は控えて欲しいと思うが、彼は絶対に同意しないだろう。（了）

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成22年12月1日

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2075% (税込み) (約定代金が 260,869 円以下の場合、3,150 円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大 0.8400% (税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0840% (税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.20% (税込み) (約定代金が 2,625 円に満たない場合は、2,625 円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。